

科目名		配線図			
担当教員		富樫 久夫		実務授業の有無	有
対象学科	電気電子工学科	対象学年	2年	開講時期	前期
必修・選択	必修	授業形式	講義	時間数	32時間
授業概要、目的、授業の進め方	一般用ならびに自家用電気工作物の配線図を読める・描けるようになるため、器具や電線・工事法の図記号や傍記のしかたを学び、図面の完全理解を目指す				
学習目標 (到達目標)	①図面のシンボルの意味がすべてわかる ②図面を見て工事に必要な機器・材料および工具を積算することができる				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	第二種電気工事士筆記試験模範解答集2021年版 ほかオリジナル資料 (OneNoteにて配布)				
NO.	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	作業環境づくり		アプリをインストールし、各種機能を実験しながら理解する (PCとiPadにインストール)		
2	電気のシンボル (図記号)		電気のシンボルについて、問題集やJISを見ながら復習		
3	分電盤・制御盤の書き方		分電盤結線図を見て、その意味を理解する さらに、自分で描くことができるようになる		
4	一般住宅の配線設計		一般住宅の配線図を手本に、設計手法を学び、製図する		
5	店舗の配線設計		一般住宅の配線図を手本に、設計手法を学び、製図する		
6					
7					
8					
9					
10					
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
平常点 20 %	課題 30 %	期末テスト 50 %	%		
成績評価基準は A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			手書きの製図もやりますが、パソコンやiPadを多用します		
実務経験教員の経歴	電子計測器メーカーにてシステム開発に約5年従事 第一種電気工事士				